

令和7年 7月1日

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立三重小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。EAAの発音をよく聞いたり、口の動きをよく見たりし、ゲーム等を通して楽しみながら英会話の学習をすることで、コミュニケーション能力の向上が見られる。
- ・外国語や外国の文化に対する興味関心の高まりが見られる。本校は外国籍の児童も多く、共に学校生活を送る中で、自然と外国語や外国の文化に触れることができる。また、授業の中でも外国の文化や行事等を学ぶことで、興味をもつ児童もいる。
- ・5、6年生の英語チャレンジDAYでは、丸一日、楽しそうに外国語活動に取り組む姿が見られる。

(4) 学校関係者による評価

＜児童＞

- ・学校評価における児童アンケートの結果を見ると、95%の児童が英会話学習を楽

しみにしていて、ALTやEAAに積極的に関わりながら交流を楽しんでいると回答している。

- ・英会話学習の授業では、他教科の学習よりも進んで友達に係わる（インタビュー等）様子が見られる。

＜保護者＞

- ・学校評価における保護者アンケートの結果を見ると、84.5%の保護者が低学年からの英会話学習の実施に肯定的であり、英会話学習の実施が英語に慣れ親しむこと、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成、外国語や外国の文化に対する興味関心の高まりにつながると期待している。

3. 実施の効果及び課題

- ・第1学年からの英会話学習の実施は、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成に効果的であると言える。低学年の児童でも簡単な英単語は話すことができる。
- ・簡単なゲーム等を通して楽しみながら学習することで、児童の外国語や外国の文化に対する興味関心が高まっている。
- ・外国籍の児童が転入してきた際、自然と受け入れることができている点も異文化への理解が深まっている効果であると考ええる。
- ・英語チャレンジDAYの実施により、多くのALTやEAAと触れ合うことができているが、ゲームの中で待ち時間長くなってしまうことがあり、活動内容については改善の余地があると思われる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・業者との英語チャレンジDAYの事前打合せの時期を早めに設定し、より一人ずつの英語の発話量が多い活動を取り入れる。